

〇〇〇〇〇御中

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

まだ一度もお目にも掛かりませんが、突然、このようなお手紙を差し上げる失礼をお許し下さい。

当方は二本松アニマルポリス（二本松市の最上動物病院とは無関係）と申します。

さて、福島リビング紙面の編集のあり方についてです。時折、産ませた飼い主による里親探し、ブリーダーによる生体販売が掲載されています。

これについての見解を記します。

~~~~~



●産ませた飼い主は命を持って余し、貰ってくれる人を探します。

自分では飼えない為、悪い人を無理矢理良い人に見立てても、渡すのです。

譲り受ける側は「一生、大切に大切に飼います」と言い「いずれ捨てるかも」「いずれは保健所へ持っていかも」「産ませて仔を保健所へ渡すかも」とは言いません。良いことだけを並べます。



現に、福島民報のハガキ投書コーナーを見て、子犬を譲り受けた福島市内の飼い主が保健所へ渡した事例。何度も譲り受けては衰弱死を繰り返している事例。

譲り受けた後、産ませて、同コーナーで里親探しをして

いた例もあり「悪循環」となる。

横浜では、仔猫を譲り受けては虐殺を繰り返していた有名な事件があった。

被害を最小限に食い止め「悪循環」を絶つには、繁殖した人に紙面を提供するのを止めるのが得策でしょう。

●産ませると更に動物人口を増やし、保健所からレスキューされるチャンスを狭め、被災動物がレスキューされるチャンスも狭める。

福島県の行政処分数だけでも年間5000匹もある（全国では年30万匹）

これにはペット店に虐殺される数は入っていない。

●飼い主から見捨てられて、暗い保健所で処分を待っている子たちは、一度は飼い主に大切にされた命、産まれたばかりの命、、、。

野良としてエサを探し求めてさまよい、衰弱死する命、、、交通事故死、、、

不妊手術を怠った飼い主が命を持って余して、誰かれ構わず渡したことが要因。

●かたや、ペット店は売れ残り動物を虐殺したり（毒殺、床へたたきつけて殺す、首をひねって殺す）、遺棄する。一匹売るために陰でどれだけ多くの命が虐殺されていることか。ペット店から買うことは、虐殺を支えることになる。

● 処分は血税で行われる。税を納めるほうは動物が処分されることを望んで納める訳ではない。  
一方、紙面への掲載者は、保健所へ渡したくないから、紙面を利用して里親探しをしていると言う。  
先にも説明した通り、産ませた飼い主は、自分では飼えない為、悪い人を無理矢理良い人に見立て  
てでも、渡すのです。自分では保健所へ連れて行かなくても、あとあと、処分とつながってきます。

以上の理由から、私は福島リビングさんへ 産ませた飼い主・ペット店へ紙面を提供することは《公  
共の福祉に反する》と説明してきました。

紙面を提供するのを止めるようにと再三、要望しましたが、まだ受け入れられていません。

福島リビングさんへ御社が広告を掲載されていることで、御社の信用問題にも少なからず悪影響を  
及ぼします。現に福島リビングさんへ広告掲載を検討した商店の方が、当方の意向を汲んでくださ  
り掲載を止めたとこともありました。

不躰なお願いですが、御社にも問題意識を持ってくださればと存じ、お手紙をさせて頂いた次第で  
す。末筆ながら皆様のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。 敬具

※福島民友「みんなのひろば」は7～8年前に、福島民報「はがき投書コーナー」も  
数年前に、産ませた飼い主の里親探しへ紙面を提供することはお止めになりました。  
(ペット店への提供は続いているかも知れません。大問題です)

二本松アニマルポリス  
Infoseek から「二本松アニマルポリス」で検索  
〒960-8066 福島市矢剣町11-3 星野  
024-563-7650 (tel fax)

去勢不妊手術費用でお困りの方の為に、当方は私財を投じ、賛同してくださる獣医師  
を関東から招いて、動物福祉キャンペーンを定期的で開催しております。